Hewlett Packard Enterprise

Data Center Automation Suite

ユーザーガイド

ソフトウェアバージョン: 2016.01

ドキュメントリリース日: 2016年1月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2016年1月 (英語版)

目次

HPE Data Center Automation Suiteの使用 **2**

DCAのオファリング - サーバー管理カテゴリ **2**

Installing Server Automation (SA) Agent (Server Automation (SA) エージェントのインストール) 2

サーバーの管理 3

Provision Servers (サーバーのプロビジョニング) 5

新規物理サーバーまたは仮想サーバーのプロビジョニング 6

プロビジョニングされたサーバーのコンプライアンスの定義 7

Server Policy Remediation (サーバーポリシーの修復) 7

カートとチェックアウト 9

サブスクリプションのキャンセル 9

サポートの問題 **9**

ドキュメントのフィードバックを送信 **10**

ご注意 **10**

保証 10

権利の制限 10

著作権について 10

商標について 10

ドキュメントの更新情報 10

サポート 10

HPE Data Center Automation Suiteの使用

HPE Data Center Automationは、仮想アプライアンス上で動作するフル機能の異種混在型ITオペレーションソリューションです。プロビジョニング、セキュリティパッチ管理、監査およびコンプライアンス、ソフトウェア管理、および標準運用手順 (SOP) を使用した日常作業の自動化のための単一のソリューションを実現できるため、ハイブリッドデータセンターのITオペレーションの標準化、統合、自動化が可能になります。

DCAは、

- Windows、Linux、Solarisプラットフォーム上で動作しているサーバーをサポートし、
- HPEおよびHPE以外の物理ハードウェア、
- 仮想化プラットフォーム、クラウドのすべての環境に対応しているので、

日常のITオペレーションの大幅な改善が可能です。

DCAのオファリング - サーバー管理カテゴリ

注: DCAのオファリングに対しては、オファリングを表示する際に [詳細の表示] ボタン (オン|オフ) がデフォルトでオンに切り替わります。このボタンは、選択したオファリングの詳細を表示するためのもので、最善の結果を得るにはオン位置になっている必要があります。

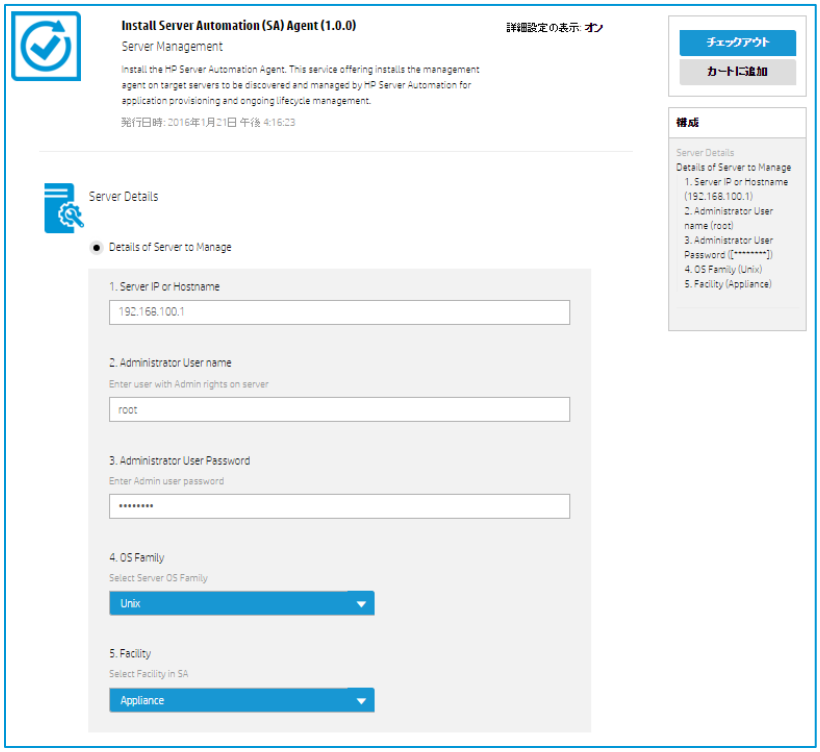
Installing Server Automation (SA) Agent (Server Automation (SA) エージェントのインストール)

このサービスオファリングは、ターゲットサーバーに管理エージェントをインストールして、Server Automationによるアプリケーションプロビジョニングと継続的ライフサイクル管理を可能にします。

注: DCAは、一度に1つのサーバーへのSAエージェントのインストールをサポートします。

オファリングをサブスクライブするには、以下の手順を実行します。

1. Operations Portalにログオンします (`https://<IPアドレス>:8079`)。
2. [**All Services**] をクリックします。
3. **Install Server Automation Agent**オファリングを選択します。
4. [**Server IP or Hostname**] でサーバーIPまたはホスト名を作成します。
5. [**Administrator User Name**] にサーバー上で管理者権限を持つユーザーの管理者ユーザー名を入力します。
6. [**Administrator User Password**] に管理者ユーザーパスワードを入力します。
7. サーバーのサーバーOSファミリーをオプションのリストから選択します。
8. サーバーがホストされているファシリティをリストから選択します。



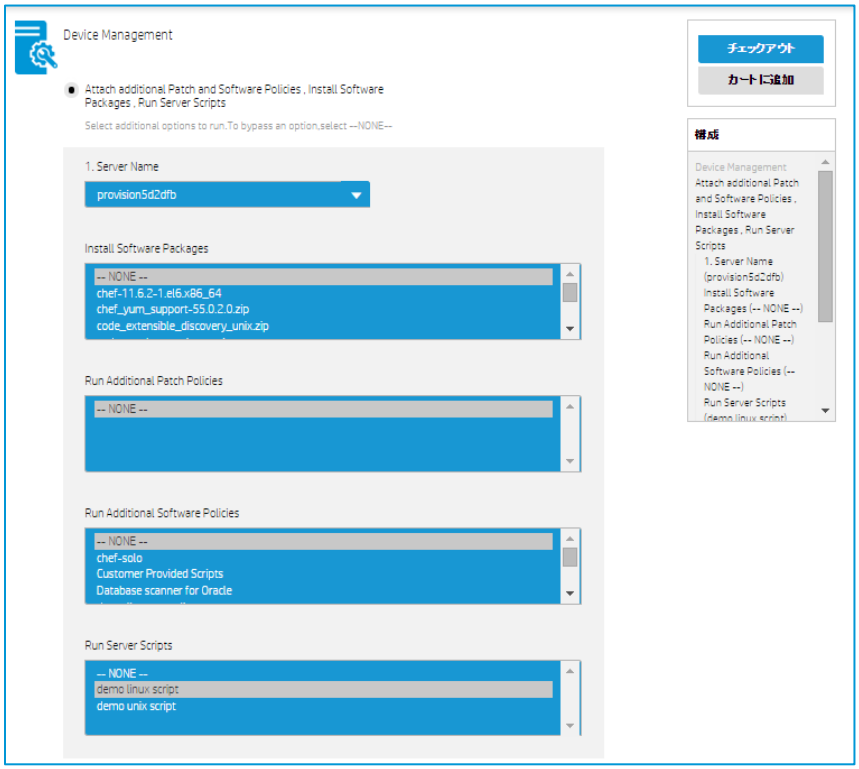
9. チェックアウトオペレーションを実行します。**サブスクリプション名**と**サービスの説明**、**サブスクリプション期間** (サブスクリプションが動作する期間) を含めます。オプションで、サービスをサブスクライブするユーザーに関連する**ドキュメント**をサービスに**添付**することができます。
10. [**要求の送信**] を選択して、サービスをサブスクライブします。

サーバーの管理

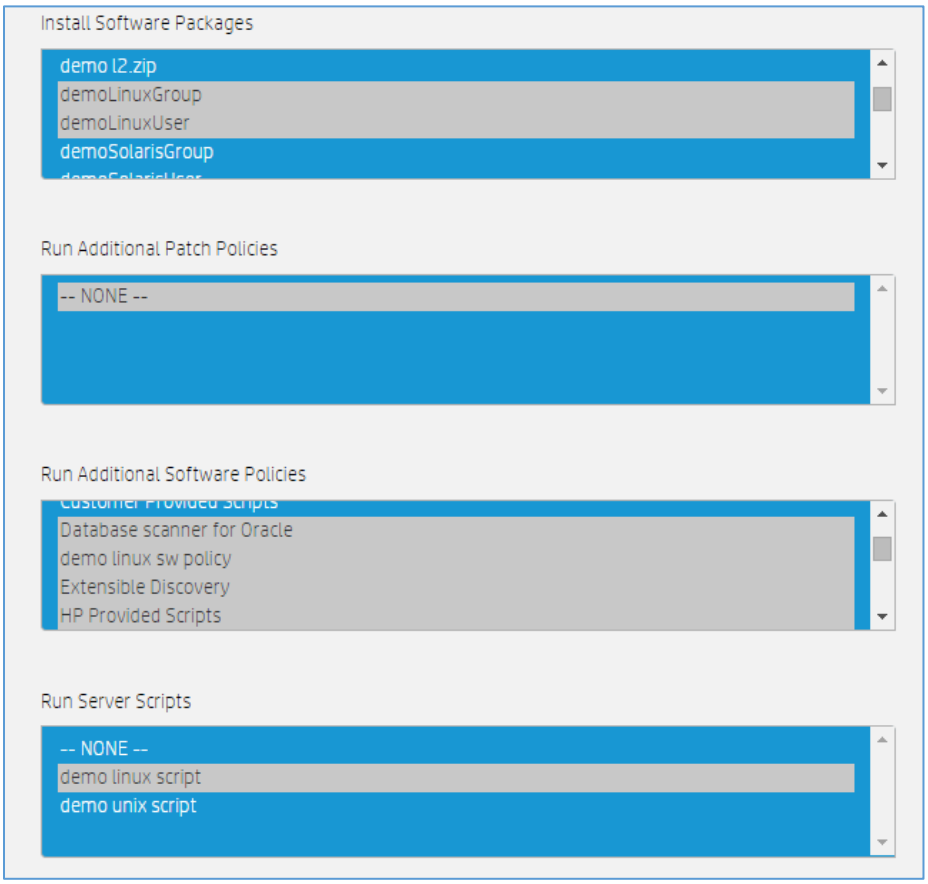
サーバーのライフサイクル全体を管理します。このサービスオファリングは、定義済みのソフトウェアポリシーとアプリケーション、スクリプトとパッチポリシーを個々のサーバーにデプロイし、修復するために使用します。

オファリングをサブスクライブするには、以下の手順を実行します。

1. Operations Portalにログオンします (`https://<DCAホスト名またはIPアドレス>:8079`)。
2. [**All Services**] をクリックします。
3. **Manage Servers**オファリングを選択します。
4. SAのすべての管理対象サーバーを含むリストからサーバー名を選択します。



5. 選択したサーバーに対して利用可能なすべてのパッケージが [**Install Software Package**] リストに表示されます。1つまたは複数のパッケージを一度に選択できます。パッケージのインストールをスキップするには、**--NONE--**オプションを選択します。
6. 追加のソフトウェアポリシーおよびパッチポリシーを、選択したサーバーに適用することができます。1つまたは複数のポリシーを同時に選択できます。ソフトウェアおよびパッチポリシーの適用をスキップするには、**--NONE--**オプションを選択します。



注: Ubuntuのパッチポリシーは、[**Run Additional Software Policies**] リストにあります。

7. 選択したサーバーでサーバースクリプトを実行するには、[**Run Server Scripts**] リストから選択できます。ここには、SAに存在する適用可能なスクリプトが表示されます。スクリプトの実行をスキップするには、**--NONE--**オプションを選択します。
注: PowerShellスクリプトを実行する場合、あるいはソフトウェアパッケージまたはポリシーにPowerShellスクリプトが含まれる場合、管理対象サーバー上で権限を付与するために、PowerShellコマンドプロンプトで次のコマンドを実行する必要があります。
`set-executionpolicy unrestricted`
8. サブスクライバーは、追加オプションを使用して、電子メール通知の送信や、SAでジョブをトラッキングするためのチケットIDの添付を行うことができます。これらのオプションは必須ではなく、必要な場合だけ使用できます。

また、Manage Serverオファリングでは、管理対象サーバーを、ITOCで定義されているビジネスサービスとポリシーにアタッチできます。
重要: この機能は、Premium Editionでのみ利用可能です

- [**Business Services**] と [**Compliance Policies**] をクリックします。
- 必要なビジネスサービスを選択します。既存のビジネスサービスを選択する方法と、新たに作成する方法があります。新規作成の場合は、[**New Business Service Name**] フィールドに名前を入力します。または、オプションのリストから必要なビジネスサービスを選択してください。
- 必要なポリシーを選択します。このポリシーは、SOA (Statement of Applicability) によって上記のビジネスサービスにアタッチされます。上記の手順で既存のビジネスサービスを指定した場合、既存のビジネスサービスにすでにアタッチされているポリシーに、選択したポリシーがマージされます。
- メンテナンスウィンドウを選択します。メンテナンスウィンドウとは、選択したビジネスサービスの操作をITOCがサーバー上で実行する際の時間帯を示します。

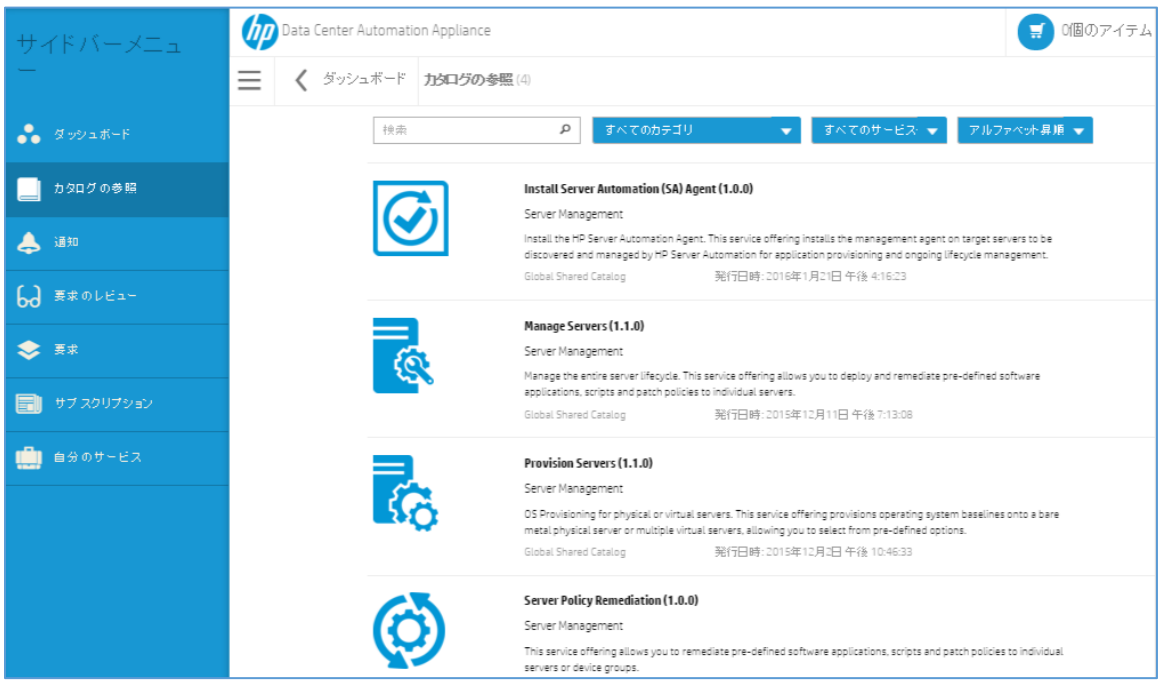
9. すべてのサブスクリプション詳細を確認したら、チェックアウトを実行して送信します。
10. サブスクリプションがアクティブになったら、サブスクリプションをクリックして詳細を表示します。

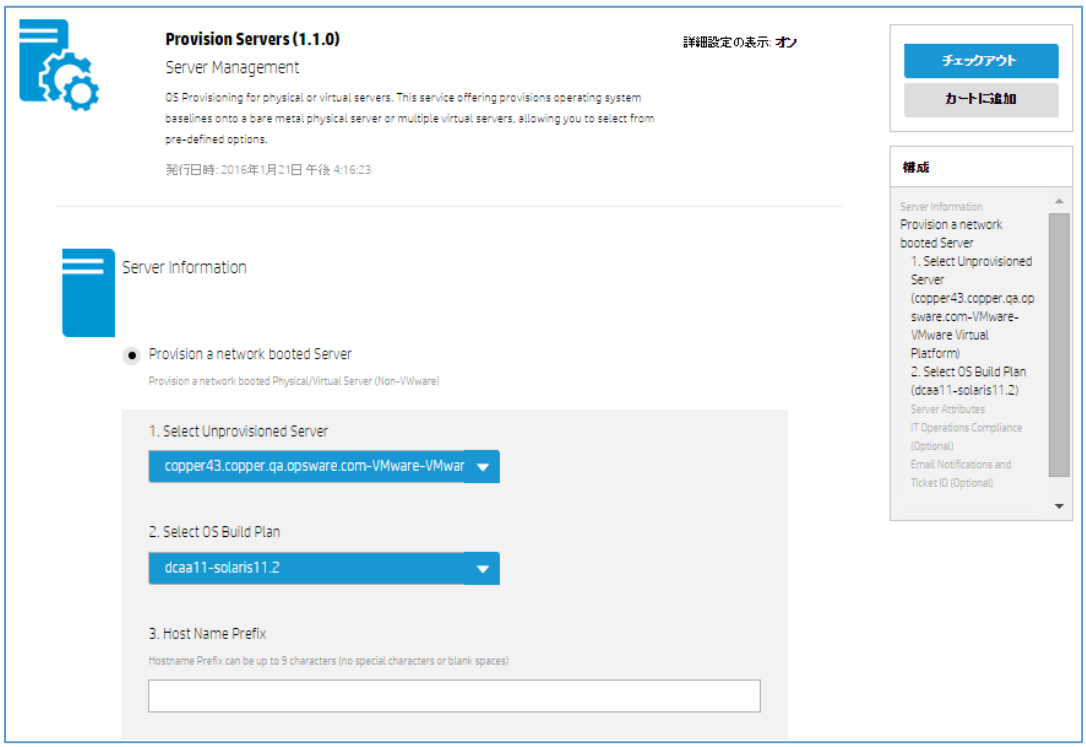
Provision Servers (サーバーのプロビジョニング)

このオファリングは、ネットワーク上の物理/仮想VMwareまたは非VMware仮想サーバーにオペレーティングシステム (OS) をプロビジョニングするために使用します。

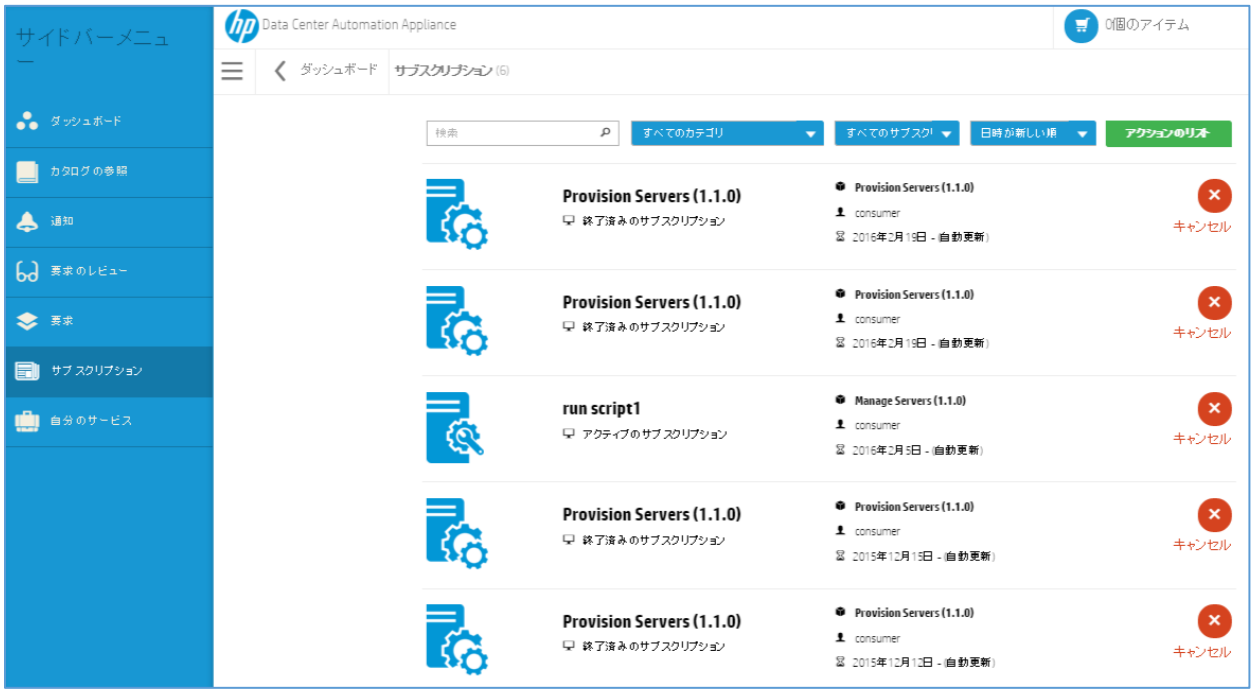
オファリングをサブスクライブするには、以下の手順を実行します。

1. Operations Portalにログオンします (`https://<DCAホスト名またはIPアドレス>:8079`)。
2. [**All Services**] をクリックします。
3. **Provision Servers**オファリングを選択します。新規物理サーバーと新規仮想サーバーのプロビジョニングを行うオプションがあります。詳細については、この後の「新規物理サーバー」の追加と「新規仮想サーバー」の追加のトピックを参照してください。





4. 詳細を記入して、[**Checkout**] をクリックします。
5. 詳細を確認し、オプションを編集します。
6. [**Submit Request**] をクリックします。
7. [**Subscriptions**] タブを開き、サブスクリプションのステータスをモニターします。



新規物理サーバーまたは仮想サーバーのプロビジョニング

新規ネットワークブートサーバー (物理または仮想)

1) [**Server Information**] ページで、[**Provision a network booted Server**] をクリックします。
2) 利用可能なサーバーのリストから [**Unprovisioned Server**] を選択します。
3) [**OS Build Plan**] を選択します。
4) [**Host Name Prefix**] フィールドでサーバーの名前を作成します。

サーバー属性に関しては、オプションで、顧客またはサーバーグループへのサーバーの添付を選択できます。

1) [**Attach Server to a Customer**] を選択します。
2) 適切な顧客名をオプションのリストから選択します。
3) [**Attach Server to a Device Group**] を選択します。
4) 利用可能なデバイスグループから選択します。デバイスグループにアタッチする場合、このフィールドは必須です。
5) 次のフィールドで、サーバーのプロビジョニングに関する情報 (ジョブ情報を含む) を電子メールで送信できます。
   a) [**Send Email Notifications**] をクリックして、電子メールIDを入力します。
   b) [**Attach Ticket ID**] をクリックして、チケットIDを電子メール通知に含めます。

   この機能はオプションであり、必須ではありません。

新規仮想サーバー (VMware)

注: このオプションは、[**Server Information**] ページの一番下にあります。

[**New Virtual Server**] をクリックすると開始します。**新規仮想サーバーの詳細**選択ページが開き、以下のオプションが表示されます。

- **ハイパーバイザー**を選択します。
- 仮想サーバー数を選択します。
- CPU数を選択します。
- VMに割り当てるメモリ (MB) を入力します。
- ホスト名を作成します。
- インベントリフォルダー名を作成します。
- 仮想サーバーの属性:
- 仮想サーバー-ストレージオプション
- 仮想サーバー-ネットワークオプション
- OSプロビジョニング
- 電子メール通知およびチケットID (オプション)

プロビジョニングされたサーバーのコンプライアンスの定義

オプションで、新しくプロビジョニングしたサーバーを、ITOCで定義されているビジネスサービスとポリシーにアタッチできます。新しいサーバーを既存のビジネスサービス (コンプライアンスポリシーとメンテナンスウィンドウがすでに定義されているもの) に対応付けることも、独自のビジネスサービスを作成 (使用するポリシーとメンテナンスウィンドウを指定) することもできます。

注: この機能は、Premium Editionでのみ利用可能です

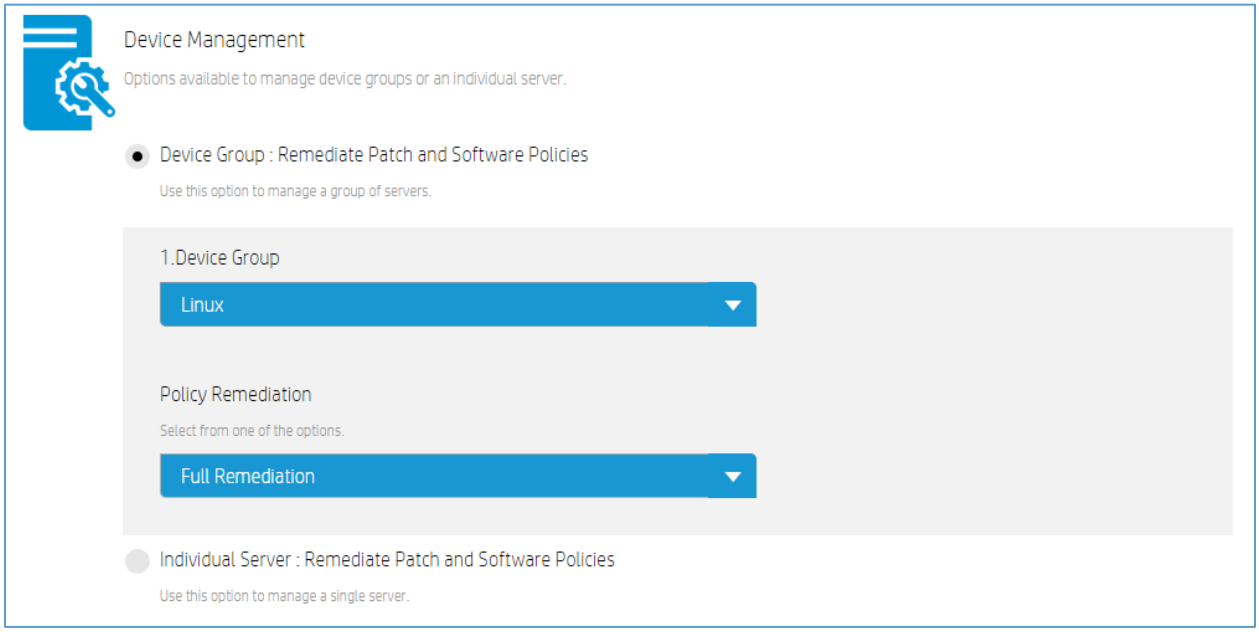
- **Attach business services** - プロビジョニングしたサーバーを、既存のビジネスサービスにアタッチします。
- **Attach policies** - プロビジョニングしたサーバーを、ITOCで定義されているポリシーにアタッチします。新しいビジネスサービスが作成されます。ここに、新しくプロビジョニングされたサーバーが含まれます。自動生成されたStatement of Applicabilityにより、選択したポリシーがアタッチされます。
    - **Select policies** - 新しいサーバーにアタッチするポリシーをすべて選択します。
    - **Select maintenance windows** - 新しいサーバーで操作を実行する場合のメンテナンスウィンドウを選択します。
    - **Input Business Service name** - 新規作成するビジネスサービスの名前を指定します。または、DCAが名前を自動生成する場合には [**--NONE--**] を選択します。

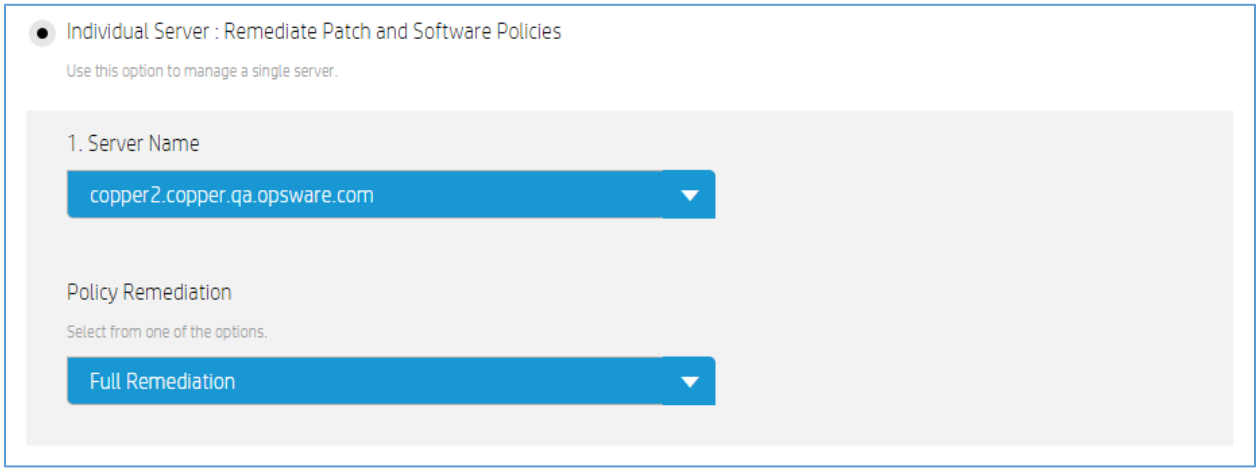
Server Policy Remediation (サーバーポリシーの修復)

このサービスオファリングは、定義済みのソフトウェアポリシーとアプリケーション、スクリプトとパッチポリシーを個々のサーバーまたはデバイスグループに修復するために使用します。

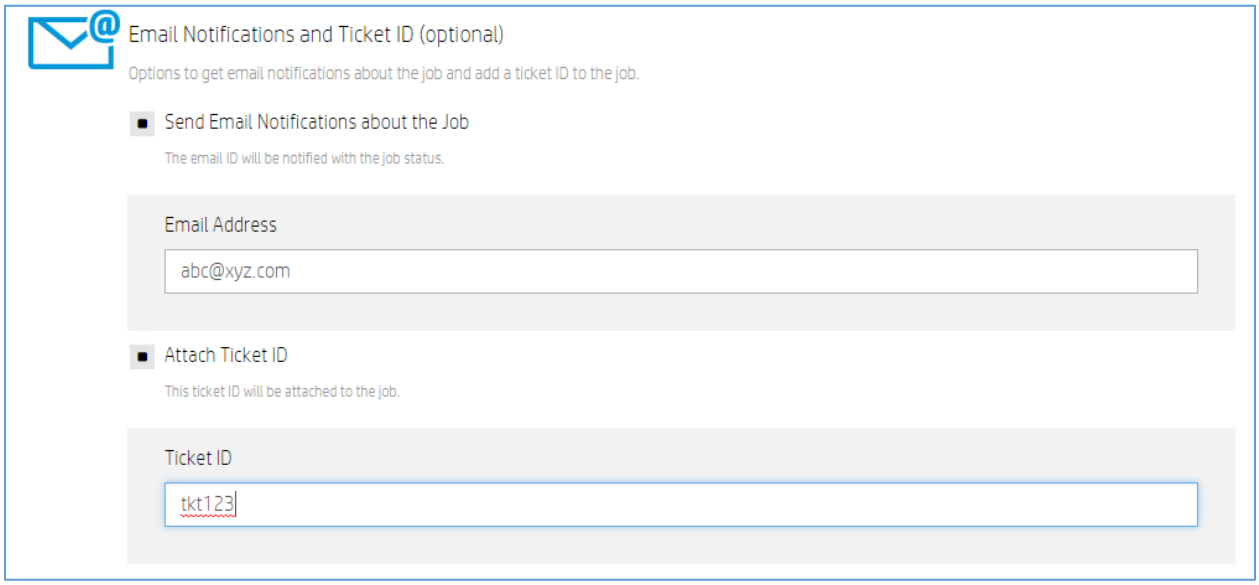
オファリングをサブスクライブするには、以下の手順を実行します。

1) Operations Portalにログオンします (`https://<IPアドレス>:8079`)。
2) [**All Services**] をクリックします。
3) **Server Policy Remediation**オファリングを選択します。
4) 次のいずれかのオプションを選択してください。
    - Remediate Patch and Software Policies on a Device Group - 静的または動的デバイスグループおよびポリシー修復オプションをリストから選択します。
    - Remediate Patch and Software Policies on Individual Server - サーバー名と修復オプションをリストから選択します。





5) 電子メール通知の送信およびチケットIDの添付の追加オプションも選択できますが、必須ではありません。



6) チェックアウトを実行し、サブスクリプションを送信します。

7) サブスクリプションがアクティブになったら、サブスクリプションをクリックして詳細を表示します。

注: Ubuntuサーバーパッチはソフトウェアポリシーの下に表示されています。Ubuntuシステムに対しては、フル修復またはソフトウェア修復が使用できます。

カートとチェックアウト

複数のサービスをカートに追加して、1回の要求でオーダーすることができます。値が指定されていない必須フィールドがある場合、値が必要なフィールドが強調表示され、[Cart] ボタンと [Checkout] ボタンはクリックできなくなります。必要なオプションをすべて選択すると、[Cart] または [Checkout] をクリックできるようになります。

必要な入力をすべて指定して [Checkout] をクリックすると、オーダーの最終確認画面が表示されます。または [Add to cart] ボタンをクリックすると、要求がカートに追加され、カートの現在の内容が画面に表示されます。カートには、画面上部のカートアイコンをクリックすることで、いつでもアクセスできます。

カート画面では、次の操作を実行できます。

- [**構成の編集**] をクリックすると、選択したオファリングのオプションを変更できます。
- [**アイテムの削除**] をクリックして、オファリングをカートから削除します。
- [**ショッピングを続ける**] をクリックすると、[カタログの参照] ウィンドウに戻って、追加の選択を行うことができます。
- [**チェックアウト**] をクリックして、要求を完了します。この他に、次のことも実行できます。
  - サブスクリプション名の追加: [サブスクリプション名] フィールドに固有の名前を入力して、サービスオファリングを識別するための固有名と説明を指定します。
  - [サブスクリプション期間] で、カート内のすべてのサブスクリプションに適用される期間を構成します。[定期加算]、[期間]、または特定の [開始日] および [終了日] を選択できます。
  - このサブスクリプションに関連するドキュメントを添付できます。サブスクリプションの契約や利用条件などです。
- 終わったら、[**カートの送信**] をクリックします。

サブスクリプションのキャンセル

任意のオファリングのサブスクリプションを、いつでもキャンセルして削除することができます。サブスクリプションをキャンセルするには、以下の手順を実行します。

1) [**すべてのサブスクリプション**] をクリックします。
2) キャンセルするサブスクリプションを探します。
3) [**サブスクリプションのキャンセル**] をクリックします。
4) ページを更新し、サブスクリプションがキャンセルされたら、[**Delete**] をクリックして削除できます。
5) サブスクリプションに電子メールが追加されている場合、サブスクリプションがキャンセルされたことが受信者に通知されます。

サポートの問題

DCA Suite 2016.01 Premium Editionは、Solarisプラットフォームをサポートします。この他に、DCA Suite 2016.01 Premium Editionには以下のものが含まれます。

- **さらに多彩なコンテンツ:** DCA Suite Premium Editionでは、いくつかの追加のコンテンツパックがサポートされ、ダウンロード可能です。
- **監査と修復:** DCA Suite Premium Editionには、監査と修復機能が付属しています。
- **大規模環境のサポート:** 単一のDCA Suite Premium Editionのインストール環境で、最大3000のライセンスサーバーをネットワーク上でサポートできます。
- **プロビジョニングと管理対象プラットフォーム:** Solaris x86サポートには、Solarisゾーンのサポートが含まれます。

ドキュメントのフィードバックを送信

このドキュメントについてのご意見は、hpedca-docs@hpe.comまでお寄せください。

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Hewlett Packard Enterpriseはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterpriseからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

RED HAT READY™ロゴおよびRED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Incの商標です。

OpenStack Word MarkおよびSquare O Designは、組み合わせにおいても単独においても、OpenStack Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、OpenStack Foundationの許可を得て使用されています。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のWebサイトにアクセスしてサインインまたは登録してください。

https://softwaresupport.hpe.com/

[Dashboard] メニューから [Manuals] を選択すると、提供されているドキュメントがすべて表示されます。検索とフィルター機能を使って、ドキュメントやホワイトペーパーなどの参考資料を検索できます。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細については、Hewlett Packard Enterpriseの営業担当にお問い合わせください。

サポート

Hewlett Packard EnterpriseソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

https://softwaresupport.hpe.com/